

△ ★ くり組サマヨリ (3)

令和5年12月20日

★ ★

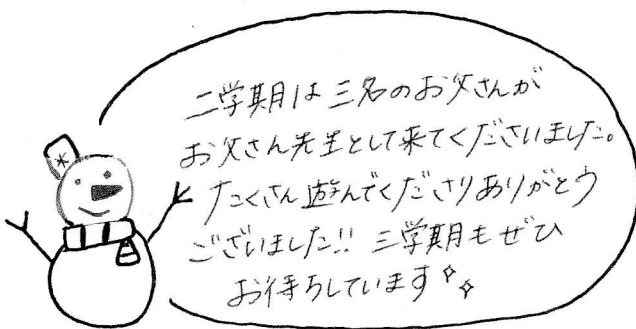
★ 常盤幼稚園 くり組担任 山田祐希子

★ くり組の子どもたちは一人一人がたくさんの“できた”を経験しました。二学期も、毎日終わりを迎えました。子どもたちの持つ力は本当に凄いよと感じる毎日でした。

クラスのみんながボールとリボン頑張った運動会。練習が始まった頃は自分のことで精一杯だった子どもたちも、徐々に周りのお友達に目が向くようになって、組体操では二人組、三人組、五人組で掛け合う姿が見られました。パラバルーンでも、くり組のみんなが力を合わせるとこんなに大きな音になると実感したことと思います。運動会の一週間前に学級閉鎖になり、クラス全員での練習ができませんでしたが、本番では素晴らしい演技を見せてくれましたね。運動会でも、お遊戯会でも、大女子きまノパピママをびっくりさせる為に「びっくり大作戦」と名付けて練習に取り組みました。記憶に残っているお遊戯会では、子どもたちの“ヤリたい”と言え込んだ長編の劇となりましたが、最後まで温かく見守ってくれて下さりありがとうございました。自分だけでなくお友達のセリフまで覚えて見せてくれたり、他の役の踊りや歌も覚えて一緒に幕中で踊っていたり、クラスの団結力が目に見えてお遊戯会でした。お遊戯会当日、終わって直後に「たのしかった♡」とキラキラ笑顔で自信に満ちあふれた表情を見せてくれたくり組の子どもたち。一回りも二回りも成長した瞬間に立ち会えた私は幸せな気分を感じました。

二学期は行事が盛り沢山で、遊ぶ時間と頑張る時間のメリハリをつけて保育をしてきたつもりですが、集団生活の中で自分の思い通りに行く時間が少なく、気持ちがいまいちあわないこともあったことと思います。それでもくり組の子どもたちは毎日笑顔で幼稚園に登園して来てくれて、たくさん頑張ったのは、お家という甘えられる場所があったからです。子どもたちなりに自分の気持ちに折り合いをつけることを、この二学期の間に自分の力にしているように思います。でも、まだまだ5-6歳の子どもたちなので、三学期もたくさん甘えて自分を出して行って谷っしょいよと思っています。残りの幼稚園生活でもっともっと“できた”という経験を積み重ねていく様に、一人一人の自信に繋がる様に、三学期も保育していきます。そして、くり組全員に「大女子き♡」という想いを伝えさせてください！

二学期もたくさんのご理解、ご協力ありがとうございました。良いお年をお迎えください。



- ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
 - ・ 一月、二月の間くり組に1エエかわりリポート
 - ・ ちんという女の子が入ります。短い期間ですが
 - ・ たくさん思い出が作れたらと思います。
 - ・ どうぞよろしくお願ひ致します。
- ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
-